

YASUほほえみクラブ

【入会申し込み・問い合わせ】YASU ほほえみクラブ事務局
(総合体育館内) ☎ 587-4280、FAX587-4310 ※月曜日・祝日休み

※内容に変更のある場合があります。参加の際は事務局にご確認ください。

初心者歓迎のメニュー	日	時間	会場
社交ダンス	2日(月) 16日(月)	19:00～21:00	コミセンぎおう
リズム体操	10日(火) 24日(火) 17日(火)	10:00～11:30	コミセンみかみ 野洲図書館
剣道	11日(水) 25日(水)	19:00～21:00	祇王小学校
太極拳	12日(木) 19日(木) 26日(木)	13:00～14:30	総合体育館
ソフトバレーボール	11日(水) 18日(水) 25日(水)	19:30～21:30	北野小学校
女性のための スタイリッシュウォーク ※ヤングミセス対象、 託児あり	5日(木) 19日(木)	10:15～11:30	コミセンやす 野洲図書館
グラウンド・ゴルフ	毎週 (水)(土)4日 を除く	9:00～11:30	野洲健康福祉センター 多目的広場
ニュースポーツ	14日(土) 28日(土)	13:30～15:30	野洲小学校 篠原小学校

初心者歓迎のメニュー	日	時間	会場
硬式テニス※要予約	毎週(土)	13:30～16:30	河川公園テニスコート
卓球	毎週(土)	9:00～12:00	総合体育館
バドミントン	21日(土)	14:00～17:00	野洲小学校
バスケットボール	5日(木) 19日(木) 26日(木)	19:30～21:30	野洲北中学校
スポーツサタデー	14日(土) 21日(土) 28日(土)	14:00～16:00 19:00～21:00	祇王小学校

【参加費】太極拳・硬式テニスは、会員 100 円・未会員 400 円。
バドミントンスクールは、会員無料・未会員 500 円。
上記以外のスクールは、会員無料・未会員 300 円

◆平成 19 年度クラブ会員募集中！

気候も穏やかになり、スポーツを気軽に楽しめる季節になってきました。健康のため、運動不足解消のため、仲間づくりのため、ぜひ会員としてクラブに参加しませんか！

【グラウンド・ゴルフのつどい(春)】参加者募集！

日時…4 月 22 日(日)午前 9 時～正午
会場…野洲川河川公園陸上競技場
参加費…会員無料、未会員 500 円
定員…大人 140 人、子ども 40 人 (先着順)
申し込み…4 月 15 日(日)までに同クラブ

さざなみスポーツクラブ

【入会申し込み・問い合わせ】さざなみスポーツクラブ事務局
(旧中主公民館別館 1 階) ☎ FAX532-4968
※日曜・月曜日、祝日は休館です

フリースポーツ	日	時間	会場
アラカルト・スポーツ	毎週(水)	10:00～12:00	B & G 海洋センター 体育館 会員：無料 未会員：300 円 当日会場受付
サタデースポーツ	14日(土) 28日(土)	19:00～21:00	B & G テニスコート サークル員外参加可
テニスサークル	毎週(土) ※雨天中止	13:00～17:00	中主小学校体育館 サークル員外参加可
バドミントン サークル	毎週(木)	20:00～21:30	中主小学校体育館 サークル員外参加可
ハイキングサークル	未定	野洲駅集合 7:30	海津大崎

醒井湧くわく街道ハイキング参加者募集！

～湖国十景の醒井と地蔵川の清流～ (約 4 時間のコース)
日時…4 月 7 日(土)午前 8 時 30 分～午後 5 時
参加費…会員 300 円、未会員 1,500 円 (バス・保険代)
定員…40 人 (参加費を添えて同クラブ)

★ 19 年度会員・スポーツスクール受講者募集！

教室名	開催日	受講料	場所
ヨガ	第 1・3 金曜日 10:00 ～ 11:30 前期 10 回	会員 2,000 円、 未会員 6,000 円	中主ふれあいセンター
楽しくフ ラダンス	火曜日 10:00～11:30 月 3 回	会員 3,500 円、 未会員 9,000 円	コミセン なかさと
フラダン ス	第 1・3 木曜日 10:00～11:30	会員 2,000 円、 未会員 6,000 円	総合体育館
エアロピ クス	火曜日 (5/8～7/10) 10:00～11:00 全 10 回	会員 2,000 円、 未会員 6,000 円	旧中主公民館 別館
太極拳	第 2・4 水曜日 10:00 ～ 12:00 前期 10 回	会員 1,500 円、 未会員 5,000 円	旧中主公民館 別館
ヨガ自力 整体	金曜日 (4/20～6/29) 19:30～21:00 全 10 回	会員 2,000 円、 未会員 6,000 円	旧中主公民館 別館
キッズ テニス	土曜日 (4/21～6/30) 13:30～15:30 全 10 回	会員 2,000 円、 未会員 5,000 円	中主 B & G テニスコート

し尿汲取日程

- ◆汲取予定日に留守になる家庭は隣近所に頼んでおいてください。
- ◆土・日曜日、祝日は休みです。
- ◆野洲・三上・北野・祇王・篠原学区については、汲取の必要な場合は予定日の 2 日ほど前から汲の赤い旗を作業員の見える所へ出して下さい。旗が出ていないときは、汲取はできません。
- ◆汲取の申し込み・支払いは、直接業者へ。
問い合わせ…環境課 ☎ 589 - 6431、FAX589 - 5069

汲取予定日	行政区および字名
2 日	北比江・乙窪
3 日・5 日	比江・松林
9 日	吉川・菖蒲
10 日	六条
12 日・16 日	堤・井口
17 日	安治・須原
19 日	野田・五条
23 日	木部・虫生・八夫
24 日・26 日	比留田
27 日	吉地・西河原
近江美研・☎ 589 - 4870、FAX589 - 2759	

汲取予定日	行政区および字名
2 日	久野部・竹生・北野一丁目
3 日	辻町・上永原・新上屋
5 日	上町・下町・上屋
9 日	江部・中北・北
10 日	小南・高木
12 日	篠原駅前・長島
16 日	成橋
17 日	街道
19 日	入町・大篠原東町・大篠原西町
23 日・24 日	小堤
26 日	富波甲・富波乙・五之里
近江美研・☎ 589 - 4870、FAX589 - 2759	

汲取予定日	行政区および字名
2 日・3 日	大畑・七間場
4 日～6 日	行畑・野洲
9 日・10 日	小篠原・桜生・駅前
11 日～13 日	市三宅・妙光寺
16 日～18 日	三上
19 日・20 日	北桜・南桜
23 日～27 日	五反田・山田・縄手・樋ノ尻・稲辻・富波南
奥村興業・☎ 587 - 0015、FAX587 - 0352 フリーダイヤル ☎ 0120 - 424110	

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

(31)

■小テーマ展 野洲の古文書 (5)

4月15日(日)まで

「野洲川と堤村—堤共有文書の世界—」

■第13回部落史学習会

4月18日(水)午後3時～4時30分

「近世の部落史に学ぶ」／臼井寿光さん(部落史研究家)

さざなみホール(当日受付・無料)

■春期テーマ展「野洲の古墳—近江野洲の王たち2—」

4月21日(土)～6月17日(日)

国史跡大岩山古墳群をはじめ、市内の古墳から出土した銅鏡・玉類・鉄製品・埴輪などを展示。

■特別陳列「仏教美術—大般若経・観音さん—」

4月21日(土)～5月27日(日)

※休館日／月曜日、5月1日(火)(4月30日(月)は開館)

矢放神社の大般若経・江龍寺の観音さん

野洲市には数多くの文化財が伝えられています。なかでも仏像や仏画、経典、石造品など仏教文化に関わる指定文化財が多いのも特色といえるでしょう。今回は、博物館の寄託資料のなかから特別公開を行いますので紹介します。

大般若経 兵主神社
(矢放神社保管・県指定文化財)

「大般若経」は、六百巻を

一具とする経典で、中世以降に村々に施入され、転読法要が勤められてきました。市内にはこの行事が今なお伝えられている所もみられます。各々の巻末などにさまざまな来歴や伝来の記録があり、地域の歴史をひもとく史料としても注目されています。

野洲市吉川の矢放神社に伝えられる大般若経は524帖。平安時代から鎌倉時代のもの

で、県の文化財に指定されています。念西ゆかりの平安時代の経巻を、1222(貞応元年)年から貞応3年にかけて、覚西の勧進により補写や補經を行ったものです。1254(建長6)年に巻子から折本に改装されていますが、鎌倉時代の折幅の広い折本の体裁をとどめていることでも貴重です。

経を納める木製の経帙の

一つに「矢放宮 長禄貳年(二四五八)戊寅卯月廿三日」の墨書がみられ、吉川の矢放神社への施入はこの頃と考えられています。昭和60～61年度に綿密な調査や整理作業がおこなわれ、調査報告書が刊行されています。

木造十一面観音立像 江龍寺
(市指定文化財)

野洲市比江の江龍寺の本尊「十一面観音立像」は、地元「観音さん」として親しまれています。平安時代後期、11世紀前半ごろの作と考えられ、市の文化財に指定されています。

像高61・5cm、檜の一本造で、顔はやや右方を向き、わずかに腰を左方に曲げて右足をゆるめる姿をあらわしています。頂上に仏面、天冠台に化仏十面を配する十一面観音で、目は彫眼、条帛、天衣を掛け、左手は水瓶を執り、

右手は垂下して五指を伸ばしています。彩色をほどこさない檀像彫刻の系譜を引き、小像ながら量感にあふれ、堂々とした像容をあらわしています。市内に伝わる観音像のなかでも優れた作例のひとつといえるでしょう。

寺伝によると、尊像は伝教大師の作といい、天正年中(1573年～1592年)の兵火の際には湖西坂本の民家に像自ら移られ、再びこの地へ帰られたと伝えられています。江戸時代後期には、江龍寺は旧野洲郡を中心とした観音霊場「湖東三十三所」の第二十一番札所となり、次の御詠歌を伝えていきます。

いくよ(幾世)へて 比江の村竹 をいしげる(生い茂る) なかにものり(法)の 声ぞかくれむ

(歴史民俗博物館学芸員 行俊勉)

